

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくエジソンすみよし帝塚山教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こどもたちの活動に合わせた空間になっているか。	掃除は毎日行い、定期的に整理整頓を行っている。プレールームと教室が分かれているため、活動に合わせた空間になっている。	定期的に整理整頓を行い、子供たちが過ごしやすい環境を作っていく。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	教室会議での情報共有やその時気になった子供の状況をその時にコミュニケーションを取り伝えて、連携している。	今後も子供たちの情報をコミュニケーションをとりスタッフ同士で連携していく。
3	こどもが自己選択ができるような支援の工夫がされているなど、自己決定をする力を育てる為の支援を行っているか。	おやつは4つ、自由時間に自分で遊ぶことを考えて遊ぶことなどができている。	選択肢が増えるような支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(自立支援) 協議会へ積極的に参加できているか	参加自体できていない。機会がない。	業務時間外に行かないといけない。
2	放課後児童クラブや児童館との子関や、地域の他の子供と活動する機会があるか。	社会福祉協議会へ最近は行けていない。	イベントの参加などを行う。
3			